

校長だより

～なかまとともにのびよう～



天美小学校 HP

令和4年12月号

校長 高橋 義浩

天美小学校生活・総合学習発表会

きのう（11月30日）、天美小学校の「生活・総合学習発表会」を実施しました。多くの保護者の方に参加いただきました。お忙しい中ありがとうございました。2学期も後1ヶ月、子どもたち共々わたしたち教職員も頑張っていますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。



1年生生活科
「お家の人の仕事」



2年生生活科
「まちたんけん」



3年生総合学習
「ひとにやさしいまちづくり」

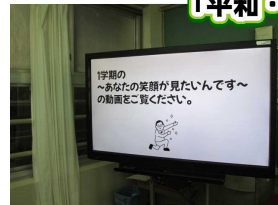
4年生総合学習
「福祉学習」



5年生総合学習
「仕事の学習」



6年生総合学習
「平和・生き方学習」



28日（月）に、第五中学校区の教職員が一緒に研修会を行いました。学期に1回、五中校区の教職員が集まって共に学ぶ機会を設けています。2学期は、天美小学校の授業の様子（全クラス公開）を見てもらい、それぞれの学校の取り組みや、五中校区としての今後の課題等について話し合いました。



授業を見学した後、グループに別れて話し合いました

スマホやネットに潜む危険 ～その1～



先日、天美西小学校で開催された「ネットモラル講習会」に参加してきました。その際、講師の先生（「NIT情報技術推進ネットワーク株式会社」島田亜紀氏）にご紹介いただいた、スマホや携帯、SNSの利用等に関わる資料を何回かに分けて今後ご紹介していきます。

@スマホがもたらす新たな環境

スマホの普及とWi-Fiの普及で、子ども達の生活環境は大きく変わった。特に小学生は低学年でも音声検索を使い、わからないことは自分で調べている。YouTubeなどの動画サイトもテレビやニンテンドー3DSを使い好きな番組だけ選んで観るようになった。しかし、インターネットの仕組みやスマートフォンの設定



を理解しておらず、位置情報や個人情報漏れていたり、公開設定のままだったりしている。『誰も私の投稿なんて見ていないはず…』そう思っている子どもは多い。本当に誰も見ていないのだろうか…投稿は必ず人目に触れる。メールなら送信相手にしか見えないし、ネット上に残ることも無い。しかし、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）はweb上かフォ

ロワーの端末に残せる。投稿内容により、検索条件が付き、探そうと思えば検索エンジンが見つけ出す。例えば、自分の住んでいる地域で事件が起きると、報道を始めとするあらゆる人が事件の内容を知ろうと検索をかける。学校名や地域の特色など、ヒットした条件に基づき過去の投稿がリストアップされ、見られたく無い内容が出てしまうことがある。一旦アップした投稿は、消すことが不可能

に近いデジタルタトゥー。問題のない内容ならいいが、場合によってはストーカー被害や就職時の障害となる。スマホの電話帳は、SNS系アプリが利用

している為、自分の電話帳内の相手には投稿が見つかりやすい。就職が決まり、上司と番号交換すると過去が見えるのだ。

（「NIT情報技術推進ネットワーク株式会社」のHPより）



みんなで
考えてみよう

